

弘前大学育成リンゴ新品種のブランド化と新たな戦略

農学生命科学部 附属生物共生教育研究センター 助教 林田 大志

弘前大学は1981年に開始したリンゴ新品種育成プロジェクトにより、果皮の着色管理不要な黄色系統および果実の高付加価値を目的とした赤肉系統の選抜を進めてきた。

黄色系の‘HFF63’『きみと™』は11月上旬～中旬に収穫され、果重が350g前後で果形はほぼ丸形である。果点が目立たず表面が滑らかで果面にサビが発生し難い。押し傷もつき難い。糖度15%以上で爽やかな甘みと香り豊かな品種である。蜜が雪の結晶模様の様に入り貯蔵中に蜜褐変しない。貯蔵性が高く通常冷蔵で150日品質保持した。樹体は‘ふじ’と同様に栽培し易い。2017年に『きみと』という商標登録名を得ている。

‘HFF33’は11月上～中旬に収穫される、果皮が‘千秋’のように縞模様になく赤く着色し、果肉は津軽地方で毎年確実に赤く着色する。果重は400g前後で硬度71.4程度と果肉のしっかりした果実である。生食可能で糖度約13%、酸度0.6%と爽やかな酸味を感じることができる品種である。樹勢が強く徒長枝様の枝が多数見られ、花芽を確保するための整枝・剪定が難しい。貯蔵性は非常に優れ、4～5月まで貯蔵可能である。

『きみと』は温暖な地方で栽培すると、果実が大きくなり糖度が上がるという試験結果もある。県内外で苗木販売本数が年々増加していることから、大きさ・糖度・蜜入り程度などの果実品質の面で品質保証をしたブランド化を県内外で行いたいと考えている。‘HFF33’は果肉の赤みなどの特徴を活かしたブランド化を目指している。貯蔵性が高いことから、中国の春節や弘前のさくら祭りの贈答品として大いに期待できる品種である。



‘HFF63’ 「きみと」の果実



‘HFF33’ 「美紅」(申請中)の果実

弘前大学リンゴ新品種育成プロジェクト（1981年～）

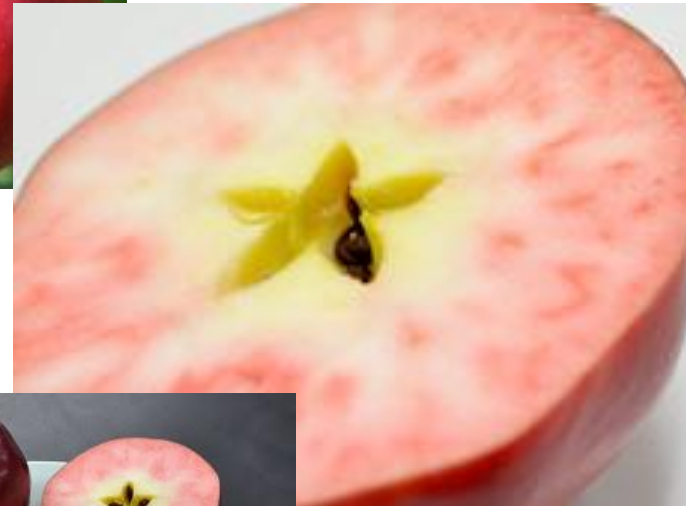
彩り鮮やか！赤色品種

HFF60

紅の夢

HFF33

美紅(申請中)



着色管理不要！黄色品種

こうこう

HFF63
きみと

弘大みさき

